

# QRコード作成ツール ユーザーズマニュアル

## 著作権について

本書とソフトウェア、及びそれらに記載されている内容は、著作権法によって保護されています。本書の内容の一部、または全部をアンテナハウス株式会社の書面による許可なく、複製、送信、情報検索のために保存すること、日本語以外の言語に翻訳することを禁じます。

Adobe、Acrobat、および Distillerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他に国における登録商標または商標です。

その他の会社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## 製品の保証について

ユーザーが、本ソフトウェア、及びマニュアルを使用することによって生じた、または使用できないことによって生じたすべての損害について、アンテナハウス株式会社、またはその代理人が有形または無形の責任を負うことは一切ありません。

## 一般的な注意事項

本書で使用している図版は、それぞれ典型的な例であり、実際にソフトウェアを利用している最中の画面、または実物と必ずしも一致しない場合があります。

あらかじめご了承ください。

本書、及びソフトウェアに記載されている事項は、将来改良の為、予告なく変更される事があります。

# 目次

マニュアルの使い方 .....	1
マニュアルの構成 .....	1
はじめに .....	3
ユーザーサポートについて .....	3
製品ライセンスについて .....	3
QR コード作成ツールを利用するために必要なシステム .....	4
QR コード作成ツールについて .....	5
QR コード作成ツールの概要 .....	5
QR コード作成ツールのインストール .....	6
QR コード作成ツールをインストールするには .....	6
QR コード作成ツールをアンインストールするには .....	6
QR コード作成ツールの使い方 .....	7
手動モードによる QR コードの埋め込み .....	7
1. 「QR コード作成ツール」の起動 .....	7
2. QR コードの規格の指定 .....	8
3. QR コードを貼り付ける位置を指定 .....	8
4. データの設定 .....	9
4.1. 「データ管理」ダイアログボックス .....	12
データ編集エリアのデータを保存するには、 .....	12
登録されているデータを呼び出すには、 .....	12
登録されているデータを削除するには、 .....	12
5. QR コードの埋め込み .....	13
CSV ファイルを使った複数 PDF ファイルへの QR コードの一括埋め込み ...	14
1. CSV ファイルの作成 .....	14
1. コメント行 .....	14
2. 入力フォルダパス指定 .....	14
3. 作成する QR コードデータ .....	15
4. 一括処理の際の注意事項 .....	16
QR コードを BMP ファイルとして出力する場合 .....	16
QR コードを PDF ファイルに貼り付ける場合 .....	16
出力フォルダが正しく指定されていない場合 .....	16
2. QR コードの一括設定 .....	17



## マニュアルの使い方

本マニュアルは、「QR作成コードツール」の使用方法について解説しています。

本マニュアルは、本製品をお使いになるユーザーが、ご利用のWindowsオペレーティングシステムに関する最低限の操作方法(マウスの操作方法等)や用語(クリック、ドラッグ、フォルダ等)を既に修得／理解されていることを前提に作成されています。

そのため、Windowsオペレーティングシステムの使用方法についての説明は、すべて省略されています。

Windowsオペレーティングシステムの使用方法について詳しくは、それぞれのマニュアル、関連書籍等を参照してください。

## マニュアルの構成

---

本マニュアルは、以下の様に構成されております。

### はじめに

QRコード作成ツールを利用される前に理解していただきたいことについて説明します。

### QRコード作成ツールについて

QRコード作成ツールの製品概要について説明します。

### QRコードツールの使い方

QRコード作成ツールの基本的な使い方について説明します。



## はじめに

「QRコード作成ツール」は、QRコードを作成し、BMPファイルとして出力したり、指定したPDFファイルの先頭ページに作成したQRコードを貼り付ける Antenna House PDF Server V3（以降 PDF Server と略す）のクライアント用ユーティリティソフトウェアです。

### ユーザーサポートについて

---

お客さまが、製品のユーザーサポートを受けるためには、弊社との間で PDFServer についての「保守契約」を締結していただく必要があります。製品に添付されている保守契約に関する書類をご確認ください。（製品購入から 1 年間は、無償で保守サービスを提供しております。）

ご不明な点については、購入先代理店の担当者にお問い合わせください。

### 製品ライセンスについて

---

本ソフトウェアは、PDFServer 付属のユーティリティソフトウェアです。インストール直後は、評価版として動作します。これを正式版として動作させるには PDFServer のライセンスファイルを本ソフトウェアがインストールされているフォルダにインストールしていただく必要があります。

なお、本ソフトウェアを評価版として動作させた場合、以下の制限事項があります：

- ・ インストールした日から 30 日の間、動作します。
- ・ PDFファイルの先頭ページにQRコードを貼り付けた場合、PDFファイルに評価版を用いたことを示す透かしが設定されます。

## QRコード作成ツールを利用するために必要なシステム

QRコード作成ツールを利用するためには、以下に示すコンピュータシステムが必要です。ソフトウェアをインストールする前にお使いのコンピュータシステムが以下に示す条件を満たしていることを確認してください。

### オペレーティングシステム(OS)

Microsoft Windows XP Professional (SP1)

Microsoft Windows Vista

Microsoft Windows 7

Microsoft Windows Server 2003

Microsoft Windows Server 2003 R2

Microsoft Windows Server 2008

Microsoft Windows Server 2008 R2 (すべて日本語版)

**注意：**64bit版のWindows XP Professional/Windows Vistaを利用する場合には、SP1以降が必要です。

### Microsoft .Net Framework

Microsoft .Net Framework 3.5 SP1

Microsoft .Net Framework 3.5 日本語 Language Pack SP1

**注意：**Microsoft .Net Framework 3.5をインストールした後、必ずWindows Updateを適用し、システムを最新の状態に更新してください。

### その他

Visual Studio 2005 Service Pack1 ALT セキュリティ更新プログラム

# QRコード作成 ツールについて

## QRコード作成ツールの概要

---

「QRコード作成ツール」は、

- ・ PDFServer で利用可能な QR コードの作成
- ・ 作成した QR コードを Windows BMP ファイルとして出力
- ・ 作成した QR コードを指定した PDF ファイルの先頭ページに貼り付けて出力
- ・ CSV ファイルの記述に従い、QR コードを連続出力

を行う、PDFServer 用ユーティリティソフトウェアです。

**注意：** QRコード作成ツールは、クライアント用ユーティリティソフトウェアです。  
そのため、PDFServerを動作させるコンピュータ（サーバ）にインストールして  
利用することを推奨しておりません。

## QRコード作成ツールのインストール

---

QRコード作成ツールをインストールする前に、本マニュアルの「[QRコード作成ツールを利用するために必要なシステム](#)」の項をよく読んで、お使いのシステムが、QRコード作成ツールを問題なく動作させることができる環境であることを確認した後、以下の説明に従って、インストール作業を行ってください。

### QRコード作成ツールをインストールするには

---

以下の手順に従ってQRコード作成ツールをコンピュータにインストールします。

1. コンピュータを再起動し、管理者(Administrators)権限を持つ、ユーザーアカウントでログオンします。
2. 全てのアプリケーション(ウイルス感染防止用などの常駐型のものを含む)が動作していないことを確認します。動作しているものがあれば、全て終了します。アプリケーションによっては、アンインストールする必要がある場合があります。不明な場合には、それぞれのアプリケーションのマニュアルなどを参照してください。
3. 「QRコード作成ツール」のセットアッププログラムを起動します。
4. セットアッププログラムが表示するメッセージにしたがって、インストール作業を行います。
5. PDFServer の正規ライセンスをお持ちの場合、ソフトウェアインストール後、ライセンスファイルをインストール先フォルダにコピーします。インストール時にインストール先フォルダを変更しなかった場合には、以下のフォルダになります。

**32-bit OSの場合:**           C:¥Program Files¥Antenna¥QrCodeTool

**64-bit OSの場合:**           C:¥Program Files (x86)¥Antenna¥QrCodeTool

### QRコード作成ツールをアンインストールするには

---

以下の手順に従って、QRコード作成ツールをコンピュータから削除します。

1. コンピュータを再起動し、管理者(Administrators)権限を持つQRコード作成ツールをインストールしたときと同じユーザーアカウントでログオンします。
2. インストールの際と同様に全てのアプリケーション(ウイルス感染防止用などの常駐型のものを含む)が動作していないことを確認します。動作しているものがあれば、全て終了します。アプリケーションによっては、アンインストールする必要がある場合があります。不明な場合には、それぞれのアプリケーションのマニュアルなどを参照してください。
3. タスクバーの「スタート」メニューの「設定」から、「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルウィンドウを開きます。
4. 「プログラムと機能」アイコン(Windows XPの場合には、「プログラムの追加と削除」アイコン)をダブルクリックし、「プログラムの追加と削除」ウィンドウを開きます。
5. ウィンドウ左の「プログラムの追加と削除」を選んだ後、画面上のリストから「Antenna House QRCode Build Tool V1.1」を選択し、「削除」、または「アンインストール」ボタンをクリックします。
6. アンインストールプログラムが起動し、選択されたソフトウェアについて削除作業が実行されます。
7. 必要があれば、コンピュータを再起動します。

# QRコード作成 ツールの使い方

## 手動モードによるQRコードの埋め込み

以下の手順に従って、QRコードを作成し指定したPDFファイルの先頭ページに埋め込みます。

### 1. 「QRコード作成ツール」の起動

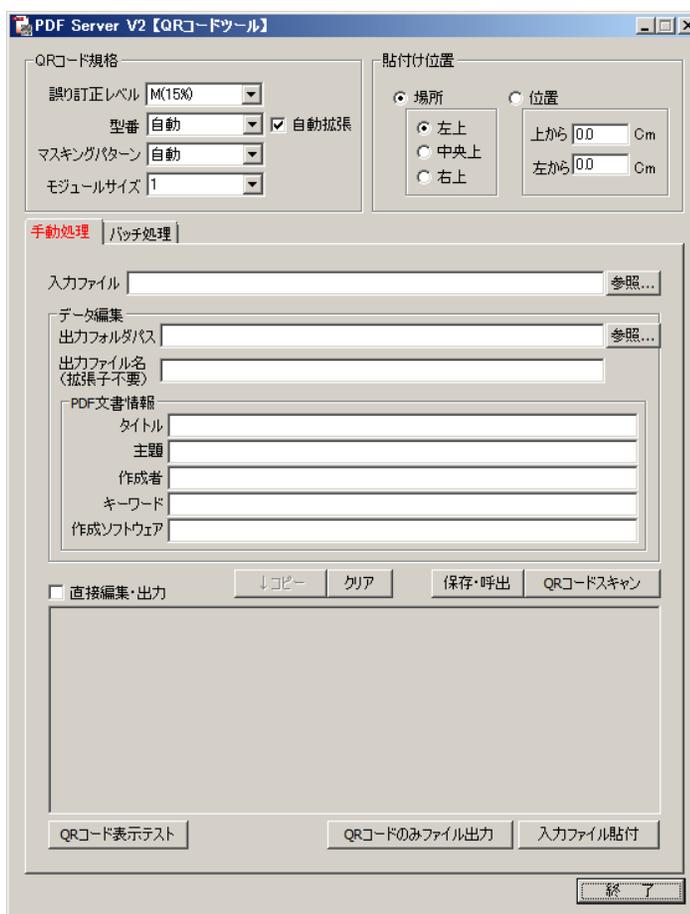
次のいずれかの方法で、QRコード作成ツールを起動し、QRコード作成画面を表示します。

- ・ デスクトップにあるショートカットアイコン「QrCode Build Tool」をダブルクリックする。



ショートカットアイコン「QrCode Build Tool」

- ・ スタートメニューのすべてのプログラムの「Antenna House QRコード作成ツール」から「QrCode Build Tool」を選択する。



QRコード作成画面



## 2. QRコードの規格の指定

「QRコード規格」エリアを使って埋め込むQRコードの規格（変換するデータ、またQRコードのオプション設定）を指定します。

**誤り訂正レベル**...QRコードは、コードが汚れていたり破損していても、データを復元する機能を持っていて、誤り訂正レベルによってその訂正能力を設定します。

誤り訂正レベル	誤り訂正能力
L	約7%
M	約15%
Q	約25%
H	約30%

誤り訂正レベルを上げれば、誤り訂正能力が向上しますが、同時にデータ量が増えるためQRコードのサイズが大きくなります。

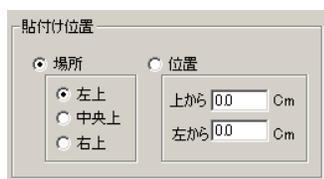
**型番**.....貼り付けるQRコードの型番（バージョン）を設定します。設定可能な値の範囲は、1～40です。また「自動」を選択した場合には、出力データに合わせて最適なバージョンを選択します。チェックボックス「自動拡張」にチェックマークを付けるとデータ量に合わせて複数のQRコードを作成して貼り付けます。

### マスキングパターン

読み取り精度を保つため、QRコード全体に白と黒の部分が配置されるようにマスキング処理が行われます。ここでは、この処理に用いるパターンを0～7の数値で指定します。「自動」を選択した場合には、最適なマスキングパターンを選択してQRコードを生成します。

### モジュールサイズ

貼り付けるQRコードの大きさを1～20の数値で設定します。初期状態では、「1」が選択されています。



## 3. QRコードを貼り付ける位置を指定

「貼付け位置」エリアを使って、作成したQRコードを貼り付けるPDFファイル、先頭ページ上の位置を指定します。

**場所**.....QRコードを貼り付ける場所をPDFファイルの先頭ページの左上／中央上／右上の3箇所から1つを選択します。

**位置**.....QRコードを貼り付ける位置をPDFファイルの先頭ページの上端／左端から、QRコード左上隅までの距離で設定します。

## 4. データの設定

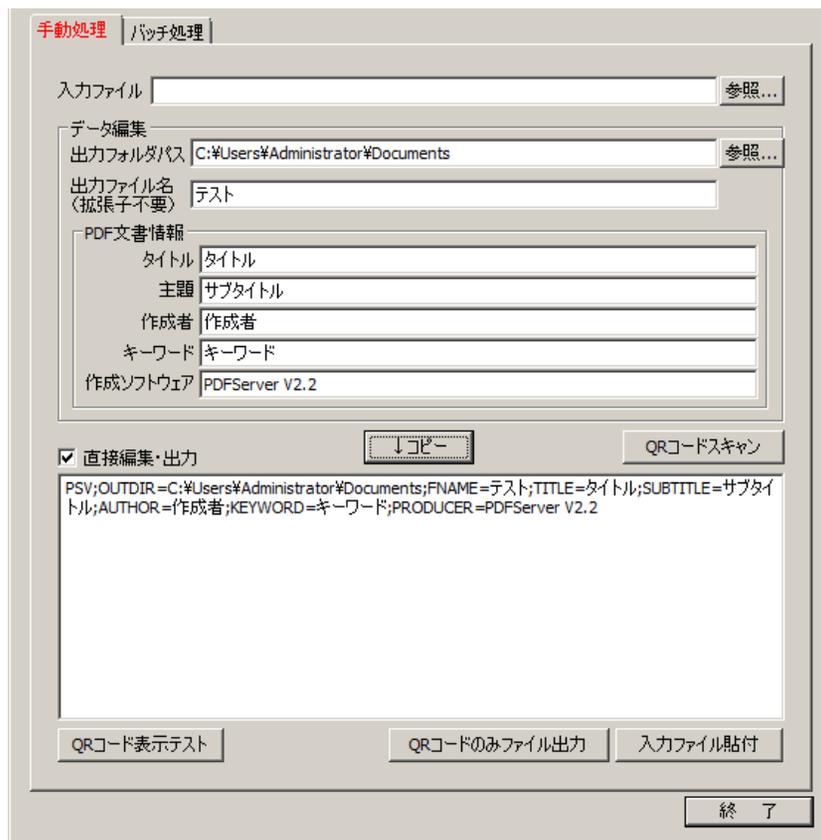
「**手動処理**」タブをクリックして表示される画面を使って、個々のフィールドにデータを入力して、QRコードの作成／PDFファイルへの埋め込みを行います。

**入力ファイル** .....フルパスを直接このフィールドに入力するか、フィールド右の「参照...」ボタンをクリックして表示される「開く」ダイアログを用いて QR コードを貼り付ける対象となる PDF ファイルを指定します。

**データ編集** .....PDFServer で読み取り可能なデータを入力します。なお、このフィールドに入力されるデータについて、内容のチェックは行われなため、入力されたデータがそのまま QR コードに変換されます。それぞれのフィールドの設定内容は、以下の表の通りです。

フィールド	設定内容	
出力フォルダパス	出力(保存)フォルダを設定する。	
出力ファイル名	出力ファイル名(拡張子を除く)を設定する。	
PDF 文書 情報	タイトル	PDFファイルの文書情報のタイトルの値を設定する。
	主題	PDFファイルの文書情報のサブタイトルの値を設定する。
	作成者	PDFファイルの文書情報の作成者の値を設定する。
	キーワード	PDFファイルの文書情報のキーワードの値を設定する。
	作成ソフトウェア	PDFファイルの文書情報の作成の値を設定する。

フィールドが、空白の場合、タスク設定での指定に応じて処理されます。



直接編集・入力.....このチェックボックス下の自由入力フィールドに入力した任意の文字列をQRコードに変換します。

↓コピー.....このボタンをクリックして「データ編集」エリアに入力されている内容を PDFServer が扱える書式に変換した文字列を自由入力フィールドにコピーします。

### QRコードのデータ書式

PDFServer が処理できる、QRコードのデータ形式は、ヘッダ「PSV」で始まり、「;(セミコロン)」でデータを区切った文字列の形をとります。

ヘッダ	;	データ1	;	データ2	;	データ3	;	...
-----	---	------	---	------	---	------	---	-----

### QRコードのデータ書式について

1. 先頭にヘッダ「PSV」を記述します。これが認識できない場合には、通常のタスク設定による処理が行われます。
2. データは、以下に示す「識別子=値」の形式で記述します。

識別子	設定内容
FNAME	出力ファイル名(拡張子を除く)を設定する。
OUTDIR	出力(保存)フォルダを設定する。
TITLE	PDFファイルの文書情報のタイトルの値を設定する。
SUBTITLE	PDFファイルの文書情報のサブタイトルの値を設定する。
AUTHOR	PDFファイルの文書情報の作成者の値を設定する。
KEYWORD	PDFファイルの文書情報のキーワードの値を設定する。
PRODUCER	PDFファイルの文書情報の作成の値を設定する。

3. ヘッダ、データに含まれる識別子の太文字/小文字は区別されません。
4. QRコードの内容に従って出力ファイル名/出力フォルダを指定して出力する際にエラーが生じた場合には、タスク設定に従った出力ファイル名/出力フォルダに保存されます。

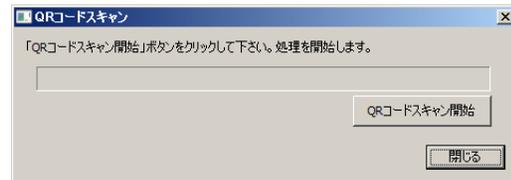
**クリア**.....このボタンをクリックするとデータ編集エリアのフィールドの内容を初期化します。

**保存・呼出**.....このボタンをクリックして、データ編集エリアのフィールドに設定した内容を保存／呼出しを行う、「データ管理」ダイアログを表示します。なお、保存可能な設定は、最大15個です。（「データ管理」ダイアログボックスの使い方についての詳細は、次項を参照してください。）

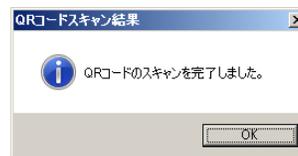
**QRコードスキャン**...このボタンをクリックすると次のダイアログを表示し、PDF（先頭ページ）／BMP／JPEG ファイルをスキャンして、PDFServer が扱える書式の QR コードが存在する場合、そのデータを取得し、「データ編集」エリアに入力します。



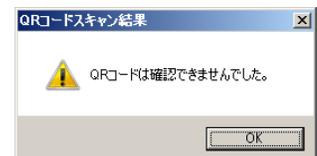
「データ管理」ダイアログボックス



ダイアログの「QRコードスキャン開始」ボタンをクリックするとファイル選択ダイアログが表示されます。このダイアログを使って、対象となるPDF／BMP／JPEGファイルを選択して開きます。

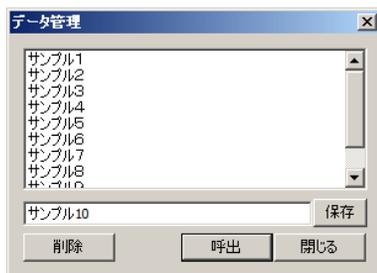


QRコードの読み取りに成功した時



QRコードが見つからなかったり、読み取りに失敗した時

処理に成功した場合、上に示したダイアログを表示した後、得られた内容が「データ編集」エリアのそれぞれのフィールドに入力されます。



「データ管理」ダイアログボックス

#### 4.1. 「データ管理」ダイアログボックス

「データ管理」ダイアログボックスを用いて、最大15個のデータ設定を保存／呼び出して再利用することができます。

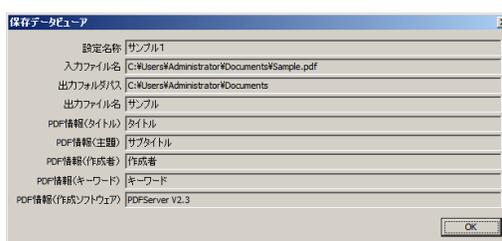
##### データ編集エリアのデータを保存するには、

各フィールドにデータを入力した後、

1. 「保存・呼出」ボタンをクリックして、「データ管理」ダイアログボックスを表示します。
2. 表示されたダイアログのフィールドに登録名を入力した後、「保存」ボタンをクリックし、設定を保存すると同時に「データ管理」ダイアログを閉じます。

##### 登録されているデータを呼び出すには、

1. 「保存・呼出」ボタンをクリックして、「データ管理」ダイアログボックスを表示します。
2. リスト中の登録名をクリックして選択します。(登録名をダブルクリックすると登録内容を表示する「保存データビュー」ダイアログが表示されます。)



「保存データビュー」ダイアログボックス

3. 「呼出」ボタンをクリックし、データを呼び出し、「データ編集」エリアのフィールドに入力すると同時に「データ管理」ダイアログを閉じます。

##### 登録されているデータを削除するには、

1. 「保存・呼出」ボタンをクリックして、「データ管理」ダイアログボックスを表示します。
2. リスト中の登録名をクリックして選択します。
3. 「削除」ボタンをクリックして、削除確認ダイアログボックスを表示します。



確認ダイアログボックス

4. ダイアログボックスのボタン「はい」をクリックして登録項目を削除します。

#### MEMO :

「データ管理」ダイアログのリストに登録されている項目について、以下の制限があります。

あらかじめご了承ください。

1. 項目の名称を変更することはできません。
2. リスト中の項目の順番を変更することはできません。

## 5. QRコードの埋め込み

「入力ファイル」フィールドで指定したPDFファイルにQRコードを埋め込みます。



QRコード表示テスト

### QRコード表示テスト

このボタンをクリックすると「データ編集」エリアのデータ、チェックボックス「直接編集・出力」にチェックが付いているときには、自由入力フィールドのデータから作成されたQRコードをテスト表示します。

### QRコードのみファイル出力

このボタンをクリックすると「データ編集」エリアのデータ、チェックボックス「直接編集・出力」にチェックが付いているときには、自由入力フィールドのデータからQRコード作成し、BMPファイルとして出力します。

### 入力ファイル貼付

このボタンをクリックすると「データ編集」エリアのデータ、チェックボックス「直接編集・出力」にチェックが付いているときには、自由入力フィールドのデータから作成されたQRコードを「入力ファイル」フィールドで指定したPDFファイルの先頭ページの指定した位置に貼り付けたPDFファイルを出力します。

終了 ..... このボタンをクリックすると「QRコード作成ツール」を終了し、画面を閉じます。

## CSVファイルを使った複数PDFファイルへのQRコードの一括埋め込み

以下の手順に従って、CSVファイルを使った複数PDFファイルへのQRコード一括埋込みを行います。

### 1. CSVファイルの作成

次の書式に従って、メモ帳など、適当なテキストエディタなどを用いて一括処理用のデータを記述したCSV(タブ区切りテキスト)ファイルを作成します。

一括処理用CSVファイルは、一行単位で情報を持ち、先頭から順に処理されます。また、各行の設定内容は次のいずれかです。

1. コメント行
2. 入力フォルダパス指定
3. 作成するQRコードデータ

#### 1. コメント行

行の先頭が「;(セミコロン)」である場合、その行はコメントとみなし、処理対象とせず無視されます。

#### 2. 入力フォルダパス指定

処理対象となるPDFファイルの保存フォルダを指定します。「SF=入力フォルダパス」の形式で記述し、入力フォルダパスの末尾がバックスラッシュ(¥)で終了しない必要があります。この表記がされた後、別の入力フォルダパスが指定されるまで、以降設定されるQRコードデータは、すべてここで指定したパスを入力フォルダとして処理します。

## 3. 作成するQRコードデータ

入力フォルダパスに存在するPDFファイルに設定するQRコードデータを指定します。データの内容は、下表に示す順に「,(コンマ)」区切りで記述された9つのフィールドからなる一行のデータとなります。

順番	項目	設定内容	
1	入力 PDF ファイル名	QR コードを貼り付ける対象となる PDF ファイルの名称 ( 拡張子を除く )。対象となるファイルの保存場所は、「入力フォルダパス指定」で指定されたフォルダ。	
2	出力ファイル名	QR コードが貼り付けられた PDF ファイル、もしくは QR コード (BMP ファイル) の名称 ( 拡張子を除く )	
3	出力フォルダパス	QR コ ー ド と し て 保 存 さ れ る デ ー タ	
4	出力ファイル名		出力フォルダパス
5	PDF 文書情報 (タイトル)		出力ファイル名 ( 拡張子を除く )
6	PDF 文書情報 (主題)		PDF 文書情報の「タイトル」フィールドの設定内容
7	PDF 文書情報 (作成者)		PDF 文書情報の「主題」フィールドの設定内容
8	PDF 文書情報 (キーワード)		PDF 文書情報の「作成者」フィールドの設定内容
9	PDF 文書情報 (作成ソフトウェア)	PDF 文書情報の「キーワード」フィールドの設定内容	
10	ラベル印刷ソフト (ジャストシステム ラベルマイティ 11 プレミアム) 用ラベル	PDF 文書情報の「作成ソフトウェア」フィールドの設定内容	
		ラベル印刷ソフト用データを出力する際、ラベルとして使用される文字列を設定する。 なお、このオプションは、出力ファイル種別として「ラベル印刷ソフト用データを出力する」以外を選択して実行する際には、無視される。	

※ 項目：3～9は、QRコードとして保存されるデータ

## 一括処理用CSVファイルの例

```
;一括処理用 CSV サンプルファイル
SF=D:¥pdfserver¥in
in_pdf1,out_pdf1,C:¥test1,OutPdf, タイトル , 主題 , 作成者 , キーワード , 作成ソフトウェア
in_pdf2,out_pdf2,C:¥test2,OutPdf, タイトル 2 , 主題 2 , 作成者 2 , キーワード 2 , 作成ソフトウェア 2
in_pdf3,C:¥test2¥out,OutPdf,,,, キーワード 3,
```

#### 4. 一括処理の際の注意事項

---

##### QRコードをBMPファイルとして出力する場合

---

1. 項目1:入力PDFファイル名は不要です。これが記述されていても無視されます。
2. 項目2:出力ファイル名は必須です。これが記述されていない場合、当該処理はスキップされます。

##### QRコードをPDFファイルに貼り付ける場合

---

1. 項目1:入力ファイル名が必須です。これが記述されていない場合、当該処理はスキップされます。
2. 項目2:出力ファイル名が記述されていない場合、入力ファイル名の末尾に「\_new」を付加したファイル名を持つQRコードを貼りつけたPDFファイルを出力します。

##### 出力フォルダが正しく指定されていない場合

---

CSVファイルに入力フォルダパス指定が記述されておらず、変換ファイル出力先フォルダと入力フォルダが同じフォルダなど、出力フォルダが不明な場合、CSVファイル内で入力フォルダパス指定で定義などされるまで、処理はスキップされます。

## 2. QRコードの一括設定

QRコード作成ツールを起動し、「バッチ処理」タブをクリックして、バッチ処理画面を表示します。



1. 「**QRコード規格**」、「**貼付け位置**」エリアを用いて、QRコードの規格、また、QRコードの貼り付け位置を設定します。
2. 「データ記述CSVファイル」フィールドに作成したCSVファイルのフルパスを入力するか、フィールド右の「参照...」ボタンをクリックして表示されるダイアログボックスを用いて、CSVファイルを指定します。
3. 「変換ファイル出力先フォルダ」エリアを用いて、出力されるPDF/BMPファイルが保存されるフォルダを指定します。

※ 入力ファイルが保存されているフォルダは、CSVファイルで指定します。

### 入力ファイルと同じフォルダ

入力ファイルと同じフォルダにQRコード付きのPDFファイル、またはBMPファイルを保存します。

### 出力フォルダを指定する

ラジオボタン下のフィールドにフルパスを入力するか、フィールド右の「参照...」ボタンをクリックして表示される「フォルダの参照」ダイアログボックスを用いて、出力するQRコード付きのPDFファイル、またはBMPファイルが保存されるフォルダを指定します。

4. 「出力ファイル種別」エリアのラジオボタンを用いて、出力されるファイルの種類を指定します。

**QRコードのみ(ビットマップ)**

QRコードをBMPファイルとして出力します。

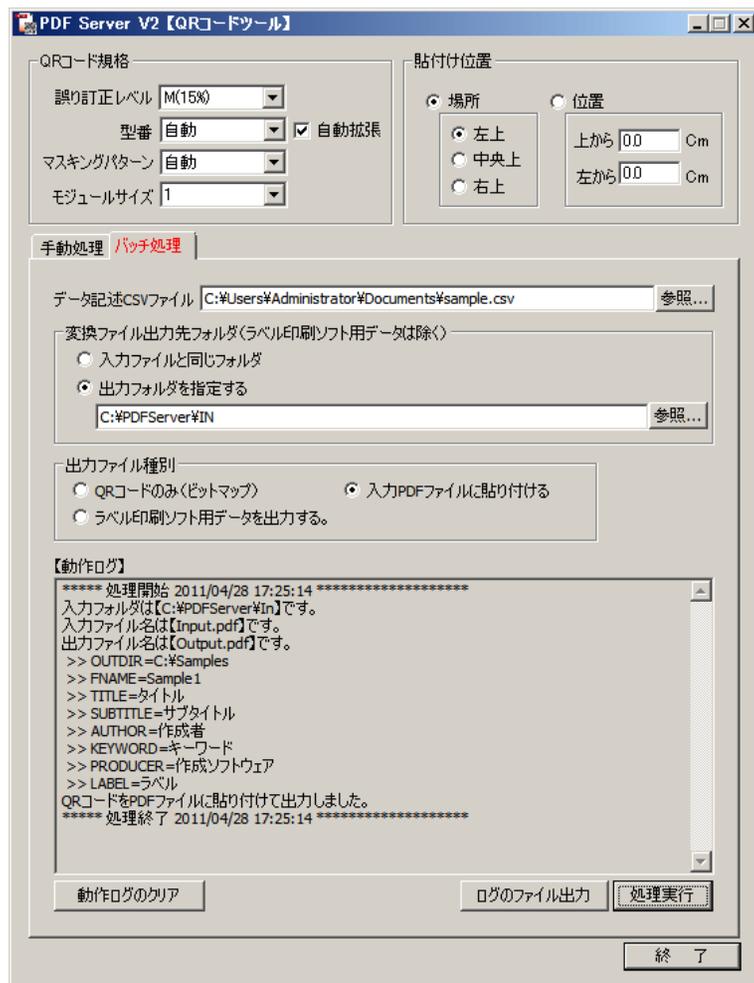
**入力PDFファイルに貼り付ける**

QRコードを入力PDFファイルの先頭ページに貼り付けて出力します。

**ラベル印刷ソフト用データを出力する**

ラベル印刷ソフト(ジャストシステム・ラベルマイティ 11 プレミアム)用のデータを出力します。

5. 設定に誤りがないことを確認した後、「処理実行」ボタンをクリックして、CSVファイルの記述に従って、処理します。



処理の途中でエラーが生じても、処理自体は最後まで実行されます。また、処理状況は、エラーを含め「動作ログ」にすべて出力されます。

**動作ログのクリア**

動作ログを消去します。

**ログのファイル出力**

表示されている動作ログをテキストファイルとして出力します。



